

安政の大地震と堀川

嘉永7年(安政元年・1854) 11月4日午前8時頃、大地震が発生した。安政東海大地震である。翌5日午後5時頃には連動して南海地震が起きている。

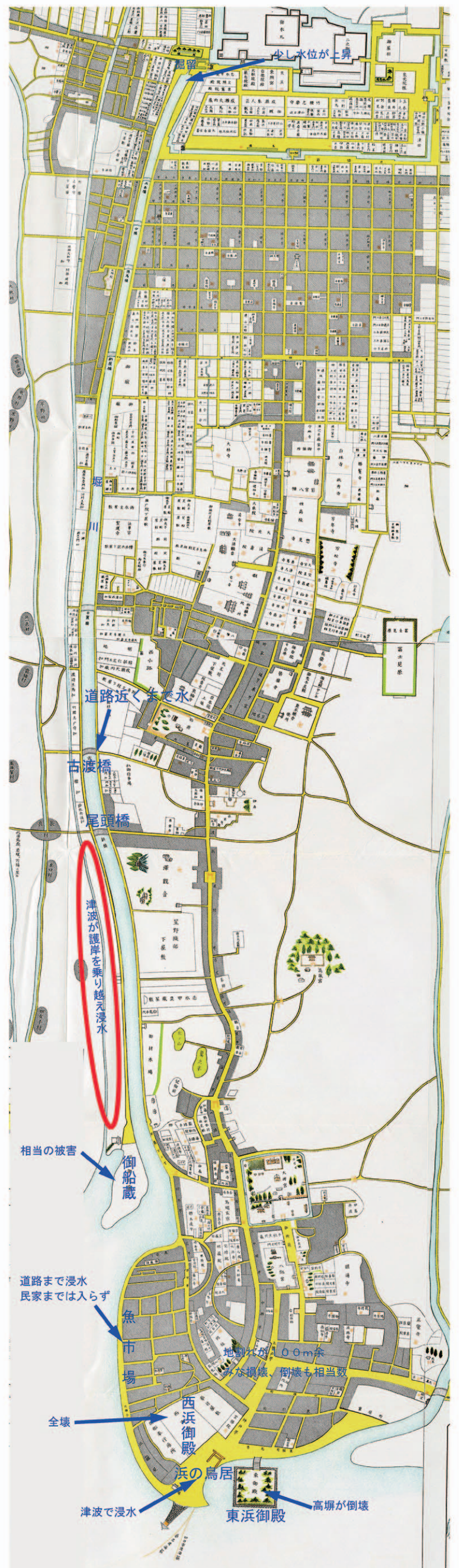
その時の津波の様子が『松涛棹筆』に御船手役所の者や熱田の魚屋から聞いたとして、次のように記録されている。

津波の状況

- ※ 干潮になっていた12時頃に津波が襲った
- ※ 再度津波が押し寄せた。高さは1.8 mほどで、堀川へ逆落としのような勢いで侵入
- ※ 熱田の浜の鳥居 ……泥水につかった。
- ※ 魚市場(現:大瀬子橋上流) 付近
……道路まで水が来たが、家には入らず
- ※ 尾頭橋より下流 ……堀川の西岸を乗り越え、一帯は浸水
- ※ 古渡橋 ……道路近くまで水が来た
- ※ 掘留(現:朝日橋) ……ふだんより少し水位が高くなった

被害の状況

- ※ 小舟と材木が混じって押し寄せた
- ※ 小舟は逆さまになり折れたものもあり、壊れたのは珍しくない
- ※ 熱田の築地 ……12~15cmの地割れが100 m余
- ※ 東浜御殿 ……高塀が倒壊
- ※ 西浜御殿 ……全壊
- ※ 御船蔵 ……相当の被害
- ※ 熱田の民家 ……みな揺れ、倒壊も相当数



「名古屋図」元文3年(1738)
(『名古屋市史』地図編)に付記